

家族で穏やかな新年を

校長 川崎 咲子

日本漢字能力検定協会が選ぶ今年の一字に「災」が選ばれました。北海道・大阪・島根の地震や西日本豪雨・大型台風・記録的猛暑などが続いたことによるのでしょう。「災」の文字が選ばれたのは、これで二度目だそうです。

さて、子どもたちが学校で、笑顔で元気に遊ぶ姿や学習に意欲的に取り組む姿は、私たちが安心させてくれます。しかし、笑顔が見られなかったり、学習に意欲的になれなかったりするのは、何か家であったかな？朝怒られて学校に来たかな？体調が悪いのかな？等と私たちが不安にさせます。

「受け止める 大地のありて 椿咲く」

という俳句がありますが、子どもたちのやる気の源は、家庭の団欒です。食事の時にテレビがついていませんか？子どもから学校の出来事を聞いてくださっていますか？子どもだけで食事させていませんか？冬休みは、こたつやストーブを囲んで家族が集まる機会が増えると思います。ぜひ子どもたちと穏やかな時間をたっぷり過ごしていただきたいと思います。そして、子どもたちに、「大好きだよ。」「大切に思っているよ。」というメッセージを届けてください。

平成三十一年度が穏やかな年になりますように、何があっても子どもが花を咲かせられるように、子どもたちをしっかりと受け止める大人でありたいものです。

【校訓】
明るく・強く正しく・すこやかに
十二月の生活目標
・「友達と仲良く生活しよう」
・「心の健康を考えよう」
・「心の健康を考えよう」

家庭教育学級 親として知って おきたいこと

十二月五日(水)の授業参観日に家庭教育学級を実施しました。冬休みを前に、テーマは、「インターネット社会において親として知っておきたいこと」でした。一学期にアンケート調査したインターネットの活用等の資料を元に、子どもたちの置かれている環境やスマートフォン・ゲーム機などを購入する時に知っておきたいことなどを映像を通して学習しました。その後、学級でも現状やどのようなルールをお子さんとお話し合っているか、良いのかを討議しました。すると、親の知らないところで、異学年でのやりとりやYouTubeの視聴の現状もあり、インターネット社会とどう付き合っていくか大変考えさせられる会となりました。



人権週間 「協力しあうこと」の 大切さ

十二月は、人権週間があります。みんなが幸せになるために人権について考えました。本校では、人権について標語を書いて考える学習をしたり、学習テーマ「友達の良さに気付こう」協力しあうことの大切さに気付こう」の元、一年から六年まで一緒に協同学習をしました。例えば仲間づくりゲームやパズルゲームです。一緒にグループ活動をすることで、自分の考えだけを押し通すのではなく、友達の考えも聞きながら、どうすればよい結果となるのかを考えて取り組む大切さを学習しました。(裏に写真)



人権集会のようす

読書集会と福袋

十一月十六日(金)に読書集会を行いました。各学級から推薦図書を発表したり、図書委員会によるパネルシアターがあつたりしました。委員会の子どもたちは、委員会活動や休み時間を使って発表の練習をしてこの会に臨みました。他の児童を楽しみながら世界にいろいろな福袋がありました。十二月には、一月の福袋にちなんで、全校児童分の本の福袋を大下先生や局先生指導のもと、図書委員会で作成しました。その福袋をみんな喜んで借りていきました。心が豊かになりました。心が豊かになり、冬休みには思いま



- ◆1月の主な行事
- 8日(火) 始業式
 - 15日(火) ふれあい給食(下学年)
 - 16日(水)・17日(木) 鹿儿岛県学力定着度調査
 - 17日(木) ふれあい給食(上学年)
 - 18日(金) 家庭教育学級
学級PTA/試食会
 - 19日(日) 志布志っ子育成研修会
(18:30~20:30)
 - 23日(水) 松山中学校入学説明会
 - 24日(木) 新1年生体験入学

